

2020年6月20日(土)

入笠山(1955m)

By Kumamoto

新型コロナウイルス騒動で、クマさん会山行も3月21日(土)を最後に自粛に入り、丁度3カ月経過し、6月19日の首都圏県外移動自粛が解除となり、これを契機にクマさん会も再開しようと企画した。先ずは手始めに20日(土)に、足慣らしのスタートとして「入笠山&すずらん山野草公園」のコースを企画した。この企画に、満を持して待ち望んでいた11名が参加した。

参加者は、岡部さん、布目さん、高橋雄さん、吉松さん、堀さん、根岸さん、田上さん、池戸さん、安部さん、熊本に今回初デビュー塩瀬さんで11名と大賑わいになった。

二日前までの天気予報では「雨は必須」と思われて雨を覚悟していたが、当日は一転して好天に恵まれた。当日のコースMAPは下図の通り。



塩瀬さん

計画した歩程スケジュール

ゴンドラ山頂駅 10:35～(入笠すずらん山野草公園:80)～11:55～(15)～12:00 入笠湿原(昼食:30)
12:30～(15)～12:45 マナスル山荘～(40)～13:25 入笠山山頂(1955m:20) 13:45～(25)～
14:10 マナスル山荘～(30)～14:40 ゴンドラ山頂駅 ゴンドラ山頂駅 14:50—(15)—15:05 山麓駅
15:10～(15)～ゆーとろん水神の湯 17:00—(タクシー10・ピストン)—17:50 富士見駅

*タクシーを事前予約したが、2台しかなく、3台必要で駅⇒パノラマスキー場をピストンとなった。

特急成田エキスプレス 3号	6:34	成田空港 6	
特急成田エキスプレス 5号	6:51	成田空港 6	
中央本線 (特急・臨時) Chuo Line (Limited Express)			
特急あずさ 1号	7:00	松本 9	
特急あずさ 3号	7:30	松本 10	

新宿発 7:00 の「あずさ 1号」に布目さん、田上さん、塩瀬さん、熊本の 4 名が乗車した。
 発車して 3 分で何故かストップ、暫くしてアナウンスで、中野付近で線路内に人が立ち入ったとのことで、結局約 15 分停車していた。
 立川から、安部さん、岡部さん、高橋雄さんが乗車。
 八王子から、吉松さん、根岸さん、池戸さん、堀さんが乗車し、小淵沢に向かう。



甲府駅に近づくと、左の車窓の真横に富士山 7 合目以上が姿を見せ始めた。
 雪は殆ど消えており、谷筋に残雪が名残惜し気に僅かに残っている。
 やはり、富士山は真っ白が良い！



小淵沢に 11 分遅れで到着し、松本行の普通列車に乗り換える。



富士見駅に 9:20 に到着
 予約したタクシーを待つ。
 ただ、タクシーの台数がなく、富士見パノラマスキー場までのピストン 3 回となってしまった。



パノラマスキー場の正面にハケ岳が望めるが、今日は山頂に雲がかかっていた。



ゴンドラ山麓山麓駅に向かう。



ゴンドラは標高差約 800m を 10 分ほどで運んでくれる。



山頂駅下のグレンデには 20 万本の「ドイツすずらん」の群生が咲いているはずだが、既にピークは過ぎており、茶色になっていた。すずらん園でハケ岳をバックに最初の集合写真（下）





このドイツすずらん群生地の隣が山野草公園で高山植物を鑑賞しながら散策する。(10:15)



ニッコウキスゲ



アヤメ



萎れたサクラソウ



レンゲツツジ



ドウダンツツジ



ドウダンツツジ



オオアマドコロ



マムシグサ



マイズルソウ



ニッコウキスゲの群生



ノハナショウブ



グンナイフウロ



ヨツバヒヨドリ



シナノオトギリ



ツマトリソウ



釜無ホテイアツモリソウ：幻の絶滅危惧種に指定。平敦盛が流れ矢の防具として大きく膨らませた母衣（ほろ）を鎧の上に背負っていたそうで、それが花の唇弁が似ていることからついた名前である。



クマガイソウ：平敦盛の首を切った源氏の熊谷直実も同様な母衣（ほろ）を背負っており、名前の由来となっている。正に、入笠山で源平合戦であった。これも絶滅危惧種に指定。



キバナアツモリソウも咲いていた。
これらの幻の絶滅危惧種をカメラに収め、「すずらん山野草公園」をあとにし、入笠湿原に向かう。



林道を Gondra 山頂駅に向かって 5 分ほど登り、入笠湿原への入口から入る(10:15)



5 分ほど歩くと湿原への下り斜面がすずらん群生地



すずらんを眺める



自生の日本すずらん 100 万本が満開であった。



満開に咲く日本すずらんの斜面を下り切り、入笠湿原に入る。



レンゲツツジ群生



シロツメクサ



アヤメ



クリンソウ



アカツメクサ



日本すずらん



入笠湿原を散策し、山彦山荘の前に上ると山荘の池にはアツモリソウが咲いていた。(11:20)



山彦山荘前の林道を少し進むと、「入笠山頂」の標識があり、それに従って林間登山道を進む。



直ぐにクリンソウが現れ、進むにつれて次々とクリンソウが・・・まるで「クリンソウ街道」だ。



最後は、「クリンソウ大群落」



直ぐ入笠花畑に出て、これを左に見ながらマナスル山荘に向かおう



昼食は入笠山登山口にソーシャルディスタンスで配置されたベンチに各々離れて座る。(11:50)
今回もまたまた、布目さん、岡部さんが造って来てくれた総菜を美味しく頂きました。
有難うございました。

雄さんは、マナスル山荘名物のビーフシチューを食べようとしたがこれは夕食用とのことでカレーに変更、
一人離れて食べていた。



12:13 満腹になって、いよいよ入笠山頂を目指す。
15分ほど登ると分岐があり、岩場迂回コースを取る。



更に、15分登って入笠山頂(1955m)に立った。(12:40)



晴れているのだが、ハヶ岳、南アルプス等は山頂が雲を被っており展望は残念であった。
しかし2000mの頂きは涼しく、爽やかであった。



12:50 山頂で記念写真を撮り下山する。下山は岩場コースを取った。



段差のある岩場を無事下りきり、入笠花畑に入る。



レンゲツツジ

アヤメ

ニッコウキスゲ

ハクサンフウロ

入笠花畑に流れる風は、山頂往復で汗した肌に気持ちよい。



入笠花畑から入笠湿原・ゴンドラ山頂駅に戻り、お土産の「山野草の苗」を買い、日帰り温泉「ゆーとろん水神の湯」に向かう。



ゴンドラ山麓駅から歩いて15分のところに「ゆーとろん水神の湯」があり、リニューアルして、館内設備も新しくなり、シルバー料金¥500が追加されていた、全員がこの恩恵に預かり、何とも嬉しいリニューアルではあった。(14:28)



温泉で汗を流し二階の無料休憩所に集まって乾杯後、塩瀬さんのクマさん会初デビューの自己紹介「TV事業部で一緒だった田上さんの紹介で・・・」

約 80 分入浴休憩し、再びタクシーピストンで富士見駅へ
予定より 1 時間早い 16:30 発の「あずさ 44 号」に乗れました。



ガラガラの車内で・・・再び盛り上がり・・・

盛り上がった勢いで、誰かが「凧やのへぎ蕎麦で締を」の声に、女性陣を含め 10 名が賛同し、八王子で下車。



3 か月ぶりの山行は、好天に恵まれ絶滅危惧種のアツモリソウ、クマガイソウを初め、沢山の高山植物に出会え
高原の涼風を胸いっぱい吸い込み、適度な足慣らし、おまけにへぎ蕎麦で締めと、何とも盛沢山な花旅でした。

皆様、お疲れ様！